



もっと素敵な大府の未来へ！

宮下しんご 3つのビジョン

1 健全に
バランスよく成長するまち

まちのポテンシャルを
最大限に引き出す土地利用

仕事、子育て、老後もずっと
未来に希望が持てるまち

不測の事態でも市民を
しっかり守れる強い財政

2 子どもが
のびのび育ちゆくまち

育児で孤立させない
0歳からしっかりサポート

子どもが自律的、主体的に
学ぶ力を育てる教育

教育DXのさらなる推進で
保護者負担も軽減

3 いくつになっても
安心して暮らせるまち

人生100年時代に向けた
健康都市づくりをもっと前へ

どの世代にとっても
便利で頼もしいバス交通

人にとっても車にとっても
安心して安全な道路環境

宮下しんご プロフィール

1978年1月14日 東京都田無市(現・西東京市)生まれ、長野県伊那市出身。
共西町在住。

伊那北高校卒業後、恩師に憧れて國學院大學文学部へ進学。在学中に個別指導講師となり、子どもたちを取り巻く社会の問題に関心を持つ。

様々な人との関わりを通じて町議1期を経験。その後、県議秘書を経て、県議選・衆院選等で政策スタッフを務める。

「“生きる”を守る」という政治本来の役割の大切さをこのまちで伝え、実践したいと考え、平成最後の大府市議選に挑戦。特定の政党や組織の支援を一切受けない“完全無所属”として、1,448票(11位)で初当選を果たす。現在1期目。知北平和公園組合議会議員、総務委員会副委員長などを歴任。

血液型O型。マンガと歌うことが大好き。休日の楽しみはドライブとラーメン屋めぐり。尊敬する人物は祖母と両親、高校時代の恩師。

飲食店勤務経験から調理師免許を所持。

個別指導講師としては今も現役(主な指導科目は中学英語と高校英文法)。

INFORMATION

日ごろの活動は
WEBでも発信中!!



<http://miyashitashingo.info>



宮下しんご 検索

【発行元】大府市議会議員 宮下しんご(大府をみんなで創る会) 〒474-0062 愛知県大府市共西町7-248 103号

TEL: 050-5339-4831 E-mail: miyango.contact@gmail.com

大府市議会議員(共西町)

宮下しんご

総集編

あなたの声が、まちを動かす力になる。

特別号

YOUR VOICE

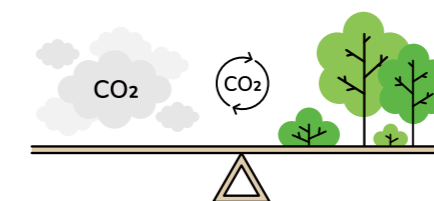
大府市議会
無所属クラブ
議会レポート

産業の発展とゼロカーボン実現の両立に向けて

世界的な異常気象が深刻化を極める中で、「カーボンニュートラル」の機運の高まりとともに、2050年に温室効果ガスの排出ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」が、大府市でも表明されました。自動車関連産業の発展とともに、今では1.2兆円規模の製造品出荷額を誇る工業都市となった大府市ですが、そんな経済的繁栄の大きさが実は、ゼロカーボンの実現にとって、むしろ高い壁となっています。

森林が100haほどしかなく、温室効果ガスの吸収源をほと

んど持たない点も大きなディスプレイアドバンテージです。企業の自助努力だけでは削減しきれない温室効果ガスを、吸収権購入で相殺する「カーボンオフセット」の活用は、大府市にとってもいずれ必要な選択肢になるでしょう。



宮下は、温室効果ガス吸収権購入による「カーボンオフセット」の活用について、令和

2年12月定例会の一般質問で最初に提言しました。大府市が都市間交流を行っている自治体にも広大な山林を抱える市・村があり、森林整備に必要な財源の確保は中山間自治体にとって、極めて慢性的かつ深刻な課題です。温室効果ガスの吸収源となる森林環境の持続可能性の確保も、今や全国の自治体の壁を超えた共通利益です。国の認証取得に向けた働きかけや後押しを含め、改めて市に提言を行っていきたいと考えています。

完全無所属の政策チーム 無所属クラブとしての4年間— 会派のチームプレイだからこそできたこと



双方の考えの一致を確認し、無所属クラブを結成(2019年5月)

2019年5月1日の任期開始に際し、いずれの政党、組織にも紐づかない“完全無党派”で、かつ4期目のベテラン、**たかばとくこ**議員の門を叩き、議会で活動をともにする政策チームとして、**無所属クラブ**を結成。

政党や組織とは一線を画し、一市民としての暮らしに根差し

た視座、地域の視点を基軸に、行政の健全な監視役としての役割を果たすため、それぞれが持ち寄った市民の多様な声と、緻密な政策調査に基づく議会での発言・提言を重視し、積極的に活動してきました。

コロナ禍の初期においても、各自の着眼点から大府の現状

と課題について話し合い、お互いに得意とする政策分野の知見も生かしながら、18項目にわたる提言書を取りまとめ、市に提出。

また、定例会ごとに、会派の議会活動レポートを共同発行し、さまざまな議案への賛否にとどまらず、自分たちの率直な考えを可能な限りお伝えしてきました。

政党、組織のしがらみのない**完全無所属**の立場から、市政に対する思いや理念を同じくする政策チームとして、今後も2人分の経験や発言機会を最大限に生かし、市議会での活動を展開していきたいと考えています。



コロナ対策基金「今後のあり方を検討」令和5年度主要事業に明記

感染拡大防止やコロナ禍の影響から市民生活を守る財源として新たに設けられた「新型コロナウイルス感染症対策基金」。

無所属クラブでは、「社会が回復フェーズに入った際、どこまでをコロナ基金で賄い、どこからが一般財源となるのかを、どう整理するのか」という論点

を、基金設置条例の審議時点から提示していました。

令和4年6月定例会においても、補正予算への賛成討論の中で、すでにそのフェーズに入りつつあるのではないかと指摘を行い、市はその後、「コロナの市民生活への影響等を総合的に検証し、同基金の今後のあり方を検討する」

として、令和5年度の主要事業に明記しました。

ロシアのウクライナ侵攻がもたらした不安定な世界情勢が、コロナ禍による打撃にさらなる追い打ちをかけている中、今後も市民生活を守るために、行政として時代の変化にどう即応していくかが、改めて問われています。

市民の課題解決のため、たゆまず調査研究！ 一般質問で様々な提言をしてきました。

「家庭で子育て応援クーポン」 対象年齢を1歳未満にも拡充へ

実家が市内や近隣の市町、県内に所在していない世帯は多く、前期高齢者就業率も増加傾向にある中、同居・近居の親がいる子育て世帯ですら、いつでも身内にサポートを頼めるとは限りません。

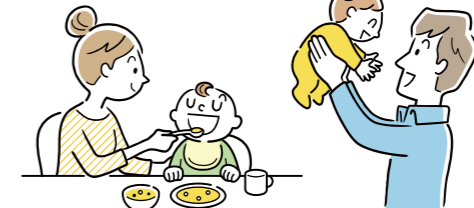
「ファミリー・サポート」も援助側の会員数が地域間で偏在している課題があり、「遠い地区の人に何度もお願いするのが申し訳ない」との声も聞こえます。

そこで、一時的保育でのリフレッシュ等、私的サービス利用のさらなる拡充や、産後ヘルパーの派遣の仕組みの導入を、令和4

年6月定例会の一般質問で市に求めました。

その際、「家庭で子育て応援クーポン」の対象年齢の拡充も提言したところ、「まず利用状況の把握、分析が必要」との回答にとどまっていたが、令和5年度からは年齢制限が撤廃され、**利用対象が拡充されます。**

0歳から安心の子育て支援のさらなる充実に向け、今後も提言を続けてまいります。



0歳から安心の
子育てサポート充実を！
市民の声を政策提言に
つなげました！

一般質問では、ほかにもこんなことを取り上げてきました。

◆ふれあいバスがGoogleでも経路検索できるよう、GTFS（標準的なバス情報フォーマット）によるバスダイヤのオープンデータ化推進を。

⇒ 令和3年2月からGoogleマップの経路検索に実装。

◆職員採用試験の実施時期のさらなる拡充を。

⇒ 令和4年度から通年採用を正式に開始。

◆新型コロナ対策(避難所の感染症対策・コロナ禍でも安心の投票所運営など) ◆給食調理員の確保 ◆がん教育の推進 ◆屋外スポーツの熱中症対策 ◆「保育の質ガイドライン」導入 ◆部活動の地域移行 ◆18歳成人に対する消費者教育 ◆人にやさしい公共施設(点字ブロック・音声案内等) etc..

